Topics from within

AIAA ICSSC-2007Colloquium

"New Space Applications for a Satellite Industry in Transition"

本誌編集委員 風神 裕

dalaa.

COLLOQUIUM

AIAA ICSSC の恒例行事。本年度は、 2004年5月9日カリフォルニア州モ ントレー市 Hyatt Monterey にて開 催。ジョージワシントン大学 Niel Helm 教授と Joseph Pelton 教授によ



る共同企画で、専門家 8人によるプレゼンテーションがあった。 聴講者約 80 名。朝 8 時 30 分から午後 5 時まで、全員殆ど退席 せず聴講。

- Historical Perspective on Satellite Applications
 Chris Hoeber(Space Systems/Loral)氏による講演。衛星通信過去 30 年の発展について纏めたもの。通信衛星のメーカーとして、米国 3 社、仏国 2 社に加え、日本の三菱電機の MT-SAT-2 を紹介。米国輸出規制の背景、SS/L Chater11 の背景等にも触れていた。
- 2. Satellite Direct Broadcast Television, Audio and Data Applications
 Ed Ashford(Ashford Aerospace Consulting)氏による講演。SES Global 社の
 SATMODE(iTV-RCS)や Broadband Interactive System(DVB-RCS)の紹介に重点。
- 3. Satellites in Disaster Warning, Response and Recovery Applications



NICT 門脇氏の講演。災害監視をキーワードとして、NICT の活動内容(災害監視システム、ヘリテレ、ETS-VIII、WINDS) の紹介。

Satellite Tele-Education and Tele-Health Application
 Eileen McGowan(Futron Corporation, USA)氏の講演。Futron 社の紹介に続き、遠隔教育、遠隔医療の米国での状況を纏めた報告。2012 年にはトランスポンダ供給量

7000 チャンネル(36MHz 換算)に対し、総需要量 6500 チャンネルになりギャップが縮まると予測。

- 5. Satellites in Aviation and Maritime Communications Systems:
 Ed Laase(Boeing, USA)氏の代役として、de la Chapelle 氏が講演。CBB の新サービス(小型ビジネスジェット、船舶、軍用、陸上移動)を紹介。
- 6. Satellites in Military and Homeland Security Applications

Denis Curtin(XTAR LLC)氏と Robert Berry(Space Systems/Loral)氏による講演。今 回のコロキウムの呼び物だけあって、良く纏まった内容。商用 衛星を軍用利用することの背景



も良く整理。X-SATR は衛星アンテナの詳細、周波数計画、システム導入シナリオ 等を紹介。

7. Satellites in the Future: Results of Major New Delphi Survey on Future Satellite Applications, Technology, Systems and Regulations
Neil Helm(George Washington University, USA)氏が、衛星通信の今後に関し



TCCS 委員アンケート結果の纏めを報告。 HDTV と低価格ブロードバンドがキーワード。技術系 16 名からの意見なので多少偏っている傾向。

8. Open Discussion 講演者 8名全員による討論会。

以上